

題目 地方創生を念頭に置いたソーシャルイノベーション研究プロジェクト

著者 岡田 久典

地域エネルギー経済研究（地域の価値の分配）営農型、自然回復型再生可能エネルギーの地域システム化

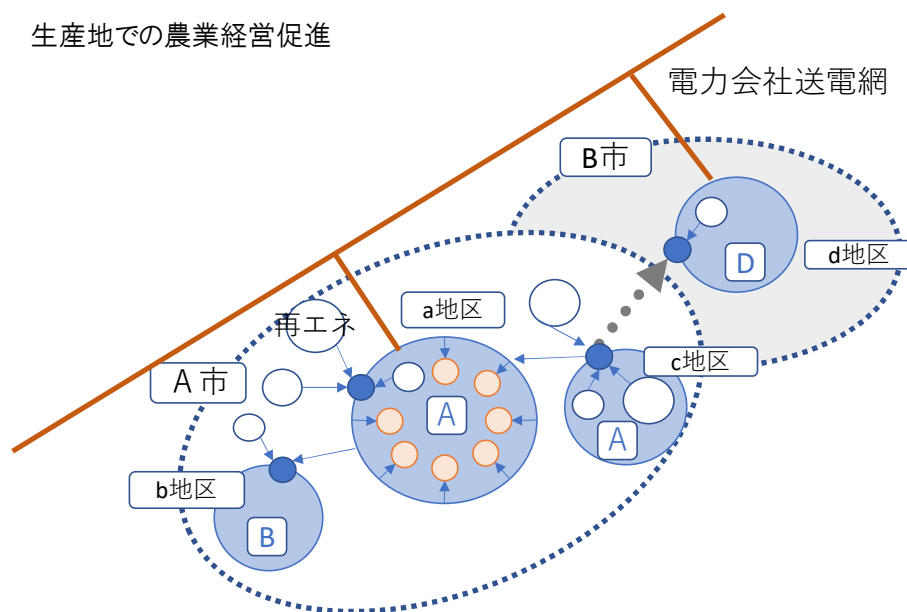
地域エネルギーの活用が求められている一方、その利益が域外に流出してしまうほか、地域エネルギーの活用による新たな自然開発も課題となっている。また、エネルギーの消費側を従来の住宅、商業、産業などの区分では、消費構造が似ていることから、ピークが増長される懸念もある。

以上の点から、地域の新たな収益となるとともに、地域でのエネルギーバランスを行う地域エネルギー経済の観点での解決が必要不可欠である。

本研究では、地域エネルギーと土地活用（農業）や自然回復と地域生活での新たなエネルギー構造の価値評価の研究を行っている。（耕作放棄地、開発後経営の悪化しているゴルフ場など地域として負の遺産となっている土地の活用や自然回復モデルを検証）

令和4年度より、多くの企業の参画を得て本格的な研究開発を行う。

例えば、生活の拠点となるスーパーやモールなどへ自営線での電力供給とエネルギー生産地での農業経営促進



本研究で期待できる効果

地域エネルギー事業を地域への価値分配が可能。地域産業（農業等）の維持のみならず新たな価値の創造が可能、※地域内で不利益者が生じないコスト計算を実施。すなわちローカル経済としての経済評価を確立